

平成 28 年 11 月 18 日
商 工 中 金

**「グローバルニッチトップ支援貸付制度」適用
北米市場でのシェア拡大を目指してメキシコに進出する
自動車内装部品製造の日泉化学株式会社を金融面からサポート！**

商工中金は、平成 26 年 4 月に「グローバルニッチトップ支援貸付制度」を創設し、政府の「日本再興戦略」に沿って、特定分野に優れた中小企業等の海外進出をサポートする取り組みを行っています。商工中金が期間 10 年一括償還・成功利払いの長期資金を供給することで融資先の事業リスクを軽減しつつ、民間金融機関と協調して融資に取り組み、対象企業の戦略的な海外事業展開を支援するものです。

商工中金（松山支店）は、同制度を活用し、日泉化学株式会社（本社：愛媛県新居浜市、代表者：園部 烈志氏）に対し、地域金融機関と協調して、メキシコへの進出に必要な資金 3 億円を融資しました。

日泉化学株式会社は、自動車内装部品をはじめとする射出成型品の製造や、IC 産業向けの電子材料や電子包材資材の販売を行っています。射出成形とプレス成形の長所を組み合わせ合わせた射出プレス成形を強みに、自動車のドア周りの内装部品であるドアライニングの製造では高いシェアを占めています。

同社はこれまで、大手自動車メーカーのアジアや北米進出に合わせて、アメリカやタイ、インドネシアに現地法人を設立し、現地生産を行ってきました。今回、自動車産業の集積が進むメキシコでの現地生産を開始するため、総投資約 27 億円をかけて生産拠点を構築する事業計画を策定しました（稼働時期：平成 29 年 11 月予定）。今後、同拠点を活用して、北米市場でのシェア拡大を目指していきます。

商工中金は、本事業が同社の競争力向上につながり、海外市場の開拓に寄与することを高く評価し、地域金融機関と協調して必要資金を融資しました。

これからも商工中金は、国内外の 104 店舗に設置している「中小企業海外展開サポートデスク」を通じて、資金面のみならず各種ソリューション・情報提供等を行い、対象企業の戦略的な海外事業展開を支援してまいります。

【日泉化学株式会社の概要】

所在地	愛媛県新居浜市西原町 2-4-34	資本金	4億5千万円
代表者	園部 烈志	従業員数	324名(平成28年9月現在)
業種	プラスチック製品製造業	設立	昭和32年7月

【メキシコ現地法人 (NISSEN CHEMITEC MEXICO, S. A. DE C. V.) の概要】

所在地	Centro Empresarial Villas Paseo de las Fuentes #6273 Int.51 Fraccionamiento Villas de Irapuato Guanajuato, 36670	資本金	120,967,500MXN
代表者	東 和也	従業員数	5名(平成28年9月現在)
業種	プラスチック製品製造業	設立	平成26年11月

【参考：グローバルニッチトップ支援貸付制度の概要】

○制度趣旨

日本の産業競争力の強化を目的に、特定分野に優れ世界で存在感を示す中小企業等に対し、海外進出の際に必要な長期資金を供給する、国の産業投資貸付を利用した商工中金独自の融資制度。

○貸付対象者

自社製品・サービスのグローバルシェア拡大を目指し、海外拠点の設立又は拡大並びに海外向け販路拡大等を行う事業計画（商工中金が適当と認めたものに限る。以下、海外事業計画という。）を有する者で、（１）、（２）のいずれか、かつ（３）（４）の要件を満たす者。

- （１）今後３年間の海外事業計画が作成され、かつ、直近の事業年度における海外向け売上高比率が１０％以上であり、当該海外事業計画期間中の海外向け売上高が５％以上増加していること。
- （２）今後３年間の海外事業計画が作成され、当該海外事業計画期間中の海外向け売上高比率が５ポイント以上増加していること。なお、商工中金が認めた場合は、５年間で達成する海外事業計画の作成も可とする。
- （３）自社製品・サービスについて、日本国内において一定のシェアを確保していること又は高い技術力・商品力を有していること。
- （４）日本国内において事業活動拠点（本社）が存続すること。

○資金使途

- （１）海外現地法人に対する出資金
- （２）海外現地法人の事業運営に必要な設備の新增設、更新、改良、補修及び無形固定資産の取得等のための設備資金又は海外現地法人の事業運営に必要な運転資金の転貸（親子ローン）
- （３）自社製品の海外販売を増加させるための設備資金
- （４）自社製品の海外販売を増加させるための研究開発費

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	５億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合０．６％
貸付期間	原則１０年

○利率（成功判定）

利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。

現地法人の直近決算（現地法人への出資金・親子ローンの場合）又は債務者の直近決算（国内法人への設備資金、研究開発資金の場合）の経常損益が赤字の場合は０．６％、黒字の場合は当金庫所定の利率とする。なお、黒字の場合であっても、海外事業計画期間中（上記貸付対象者（１）の場合は３年、同対象者（２）は３～５年）、海外向け売上高実績が当該海外事業計画の８０％未満の場合は０．６％とする。